

平成 26 年 6 月 7 日発行

# ゆきつばき通信

第 161 号

大町山岳博物館友の会



## 「信州 山の日」について

お国でも「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する“山の日”」を 8 月 11 日と定める祝日法改正案が可決成立しましたが（2016 年施行）、かねてより動きのあった“信州 山の日”が期日を 7 月第 4 日曜日（今年は 7 月 28 日）として今年より始動します。併せて 7 月 15 日から 8 月 14 日まで（1 ヶ月間）が「信州 山の月間」に設定されました。

“信州 山の日”制定に向けて国との重複にはやはり議論はあったようで、その辺りはどのような決着になったのかは明らかではありませんが、趣旨とするところでは

国：山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する

県：貴重な資源である山に感謝し、山の恵みを将来にわたり持続的に享受していくために山を守り育てながら活かしていく

とあり、これもどちらもあまり区別がつきにくいところです。信州の取り組みの展開としては、山の恵みに関して「親しむ・学ぶ・守る」という 3 つの視点に立って「山を活かす」こととあります。これも、年ごとに具体的な実行計画に移されれば、定着してくると思います。

山の日、あるいはこれに類したものはすでに多くの県で制定されており、長野県も名乗りを上げるには、全国に 23 ある 3,000m 峰のうち 15 座が長野県にあり全国第一位であること、山小屋の数が全国一位であること、自然公園やスキー場、森林面積等でも全国有数であることを挙げ、しかし、観光利用者数は減少しつつ、登山道整備や山小屋トイレの問題、ニホンジカによる食害等の課題も背景にあるとしています。

もともと私たちは、多くの恵みをもたらしながらも時に火を噴き山津波を起こす山に対して、山岳信仰の古い形として畏敬の念を持っていました。ほぼ毎日山の日、ときどき山の日のみなさんも、山に怒られない程度に、山の日、山の月間にかこつけて山を活かしていただきたいと思います。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/yama/>

（編集部）

# 行事のご案内

## 【山岳博物館・友の会共催事業】

大町市制施行 60 周年・合併 10 年記念・「信州山の日」制定記念

## 大峰山地の自然なぞ解き トレッキングツアー

大峰帯(おおみねたい)の誕生、その歴史は糸魚川 - 静岡構造線の活動や北アルプスの形成とも関係していた!?

このツアーでは、信州大学名誉教授でもある小坂共栄山岳博物館専門員らといっしょに、それらのなぞ解きに出かけます。



東山、滝の入林道沿いの尾根上にみられる巨大な礫

《期 日》 平成 26 年 7 月 21 日(祝,月) 午前 9 時~午後 3 時(予定) 小雨  
決行

《講 師》 小坂共栄山岳博物館専門員ほか

《対象・定員》 小学生から大人まで 25 名(定員になり次第、締め切り)

《日程・コース》 集合 山岳博物館 午前 9 時 00 分

解散 山岳博物館 午後 3 時頃

山岳博物館 ~ 山の子村 ~ 鷹狩山山頂 ~ 乗越峠 ~ 霊松寺 ~  
市民の森 ~ 山岳博物館

《会員参加費》 会員:大人 1,000 円 小・中学生 無料

《持ち物》 昼食と行動食(おやつ)、飲み物、敷物、雨具、筆記用具、帽子、  
日傘など各自必要なもの はき物は歩きやすい靴で!

《申し込み》 7 月 17 日(木)までに電話で友の会事務局へ(Tel/Fax0261-23-6334)

### 参加条件

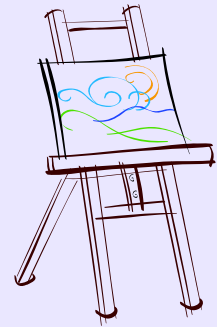
- 1 全行程を歩くことのできる方
- 2 保険加入後のキャンセルには、キャンセル料(500 円/1 人)のお支払いが必要となります。
- 3 小学生が参加する場合には、保護者の同伴が必要となります。

【運営スタッフ】(山岳博物館 清水隆・千葉・小坂 友の会 宮澤・塩瀬)

## 【市立大町山岳博物館主催行事のご案内】

<http://www.omachi-sanpaku.com/display/event/>

をご覧ください・・・・・・・・



中部山岳国立公園制定 80 周年記念・大町市制 60 周年記念・合併 10 年記念

### 特別展「日本山岳画協会展 大町展」

第 1 部「日本の山、世界の山」（7 月 19 日～9 月 15 日）

第 2 部「北アルプスを中心とした山岳画」（9 月 17 日～11 月 24 日）

の 2 部構成で開催いたします。

### 日本山岳画協会展 大町展 **ギャラリートーク**

開催日 7 月 19 日（土）/8 月 10 日（日）/9 月 14 日（日）/10 月 12 日（日）・  
26 日（日）

開催時間 午前の部 10 時 30 分～・午後の部 2 時～

さんぱくこども夏期だいがく

### **日本山岳画協会の先生たちから山の描き方を教わろう！**

日時 平成 26 年 8 月 7 日（木） 午前 9 時～11 時 30 分

対象 小学生から大人まで

さんぱくこども夏期だいがく **自然ふれあい講座**

### **みんなで温暖化ウォッチャーズ セミの抜け殻を探せ！**

日時 平成 26 年 8 月 8 日（金） 午前 9 時～午前 11 時 30 分

（長野県環境保全研究所共催）

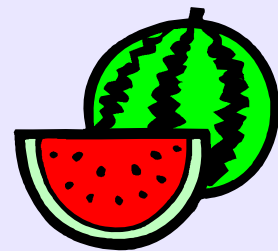
### 展示スポット解説

開催日 8 月 15 日（金） 「山と人」

8 月 16 日（土） 「山と生き物(植物)」

8 月 17 日（日） 「山と人」

開催時間 1 回目 午前 11 時 30 分～・2 回目 午後 3 時 30 分～



# 報 告

【山岳博物館・友の会共催事業】

## 茶臼山動物園でライチョウを観察してみよう！

大町市制施行 60 周年・合併 10 年記念

長野県環境保全研究所・市立大町山岳博物館連携・協力協定締結記念

平成 26 年 5 月 11 日（日）開催 参加者 21 名（内、一般 6 名）



山岳博物館では、昨夏、立山（富山県）においてライチョウの観察ツアーを実施いたしました。大町市のシンボル鳥でもあるライチョウとはどのような鳥なのか、またどのような環境にすんでいるのかを、実際に現地で観察し、ライチョウを通してまず高山環境に興味を持っていただくことを目的に開催いたしました。



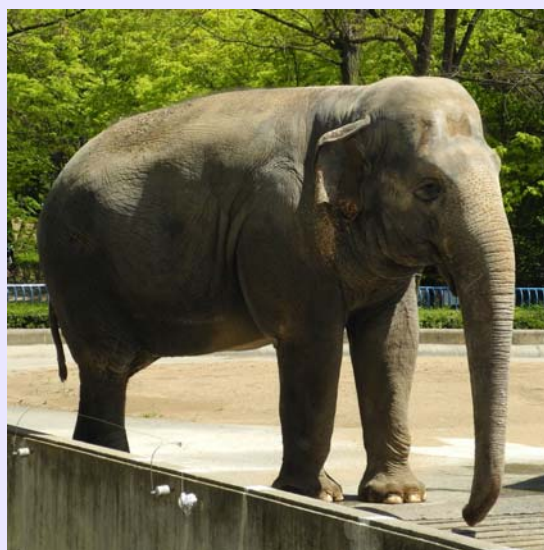
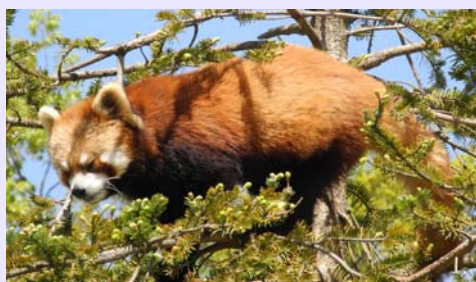
この度は、日本の動物園ではライチョウの近似種であるスバルバルライチョウの繁殖技術を確立し、それを日本のライチョウを守るために役立てようと試みていることについて、なぜ、そのようなことが必要なのかを、日本のライチョウのおかれている現状、高山環境についてさらに理解を深めていただくことを目的に実施いたしました。



講師は、長野県環境保全研究所堀田昌伸研究員と長野市茶臼山動物園田村直也学芸員に務めていただき、堀田研究員からは、「日本にすむライチョウってどんな鳥？」と題して、ミトコンドリア DNA からみた生息域ごとの違いや森林総合研究所との共同研究から、地球温暖化が進んだ場合のいくつかのシナリオを取り上げ、ライチョウの生息地の減少予測についてお話を聞きました。（詳細は 山と博物館 4月号 を参照してください。）

田村学芸員からは、「スバルバルライチョウってどんな鳥？」と題して、スバルバルライチョウの生息地や飼育することでわかったこと、環境省からの協力依頼を受け、これまでにスバルバルライチョウを飼育してきた日本動物園水族館協会加盟園館を中心に、「ライチョウ生息域外保全プロジェクトチーム」が立ち上げられ、環境省と一緒に日本のライチョウ保全に取り組んでいくことについてお話しいただきました。ふたりのお話を通してこの度の企画の意図を十分にお伝えすることができたと思います。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

【運営スタッフ】（山岳博物館 千葉・清水隆・関 友の会 松井昭・松井啓）



## 烏帽子の会活動報告

5月24日(土)『鍬ノ峰』 参加者 9名～《総会》参加者 12名

### 《コースタイム》

松川村役場 8:00～8:40 登山口駐車場～9:00 スタート～11:25 頂上 昼食  
下山開始 13:00～ 駐車場到着 14:30～すずむし荘～総会 16:00～松川村役場

### 《コース状況；その他周辺情報》

鍬ノ峰は烏帽子の会でも個人的にも何度か登りましたが今回ほど人が多いのは初めてです。駐車場もいっぱいなんとか2台の駐車場所を確保し出発。天気も程よく標高を上げるほど シャクナゲ が綺麗に咲いていました。頂上でもなんとか場所を確保し360度の景色を堪能しながらのんびりと昼食をいただきました。風もなく暖かく最高の天気でした。



### 《感想》

新しい仲間が増えました！  
「友の会」に入会と同時に「烏帽子の会」入会希望の方が1名今回の鍬ノ峰にお試し参加をしていただきました。（烏帽子の会では入会希望者には、一度お試し参加していただくことにしています）総会にも参加していただき、正式に「烏帽子の会」にも入会いただきました。



下山後すずむし荘にて総会を開催し、概ね平成26年度山行予定を決めました。詳細は決まり次第「ゆきつばき通信・山博HP」にて皆さんにお知らせいたします。

---

#### 平成26年度 山行予定

7月	虚空蔵山予定	1月	小谷村周辺
9月	十石山予定	3月	保福寺峠予定
11月	柄山峠予定	5月	未定

---

## サークル・花めぐり紀行 斑尾高原原生花園と大谷地をめぐる（報告）

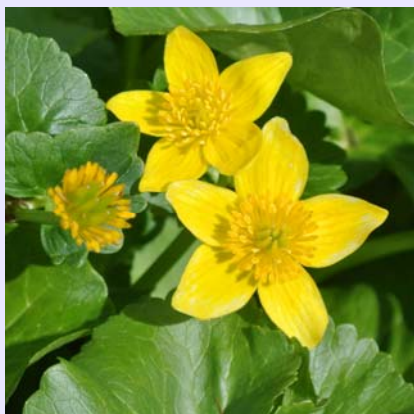
本サークルの初めての催しを平成26年5月18日(日)に開催しました。当初、予定していた奥裾花自然園(長野市鬼無里)はアクセス道路の土砂崩落による今季通行止めにより、急きょ、変更しての実施となりました。

本サークルの目的は、花の美しさやふしぎを求めて季節ごとに各地を訪ね、花を通して地域の生態系への理解を深め、改めて大北地域の自然について見つめ、考えることです。

そこで今回の目的は、ミズバショウとリュウキンカの花の鑑賞とし、それらを訪れる昆虫の観察から、花と昆虫との関係について考えることとしました。

最初に訪れたのは、長野県と新潟県の境にある斑尾高原原生花園の沼の原湿原です。今回はロングコースを2時間30分かけて散策しました。リュウキンカは大ぶりの花をつけていて、私たちが居谷里湿原(大町市)などで見慣れているものとは、異なって見えました。会員同士「この個体と、この個体はかなり大きさが違っているね」、「これはエゾノリュウキンカなんじゃないかな?」などの声が聞こえ、楽しく散策することができました。

つぎに訪れたのは、大谷地湿原(長野市飯綱)です。ミズバショウもあるのですが、注目したのはリュウキンカの花で、会員同士「こちらは、居谷里湿原のリュウキンカの花の大きさに似ているね」、「やっぱり、さっき(沼の原)のリュウキンカはリュウキンカじゃない」、「訪れる昆虫は似ているね」などの声が聞こえました。こちらは、1時間かけての散策となりました。



まだ、2地域しかめぐっていませんが、今後、数年をかけ湿原をめぐることで、これらの疑問また、新たな疑問にせまりたいと思います。

今回は、平成 26 年 6 月 28 日（日）開催の花めぐり紀行 ササユリ（岐阜県高山市庄川町）です。ササユリの生育環境や、花や葉の形態、訪花昆虫の痕跡などを観察したいと思います。

ご興味のある会員の皆さんは、本サークルへの参加等につきましてお気軽にお問い合わせください。

（代表 / 宮澤陽美）

## ボランティアサークル便り

ボランティアサークルでは4月・5月はサクラソウに関する活動とゴールデンウィーク中は写生大会及び館内ガイドのお手伝いをしました。

### サクラソウポット除草移植作業

4/20・4/27

サクラソウ栽培展示に向けて、ポットの除草や植え替えを行いました。それぞれ8名、10名参加。



### サクラソウ栽培展示 4/29～5/25



4/29 に信濃大町駅にサクラソウを運搬し栽培展示を開始しました。大町市制 60 周年を記念して 60 という文字を白いサクラソウのポットで描き、周りをピンクのサク



ラソウのポットで埋めました(開花前のサクラソウですので、その後若干の修正が生じたとか 写真は咲いたところを合成)。13名参加。5/5~5/24の10日間に4名で23回の灌水を行いました。二つのジョウロで水道から何回も運びました。5/25には山博に戻し、館内除草作業等を行いました。13名参加。

**写生大会受付・館内ガイド等 4/27~5/6**

ゴールデンウィーク中に開催された付属園まつりのお手伝いで、写生大会の受け付け、スタンプラリーの受付等を行いました。中ごろ~後半は雨の日もありましたが、前半は天候にも恵まれて多くの方に来館いただきました。延 14 名。

毎月第4日曜日に草取り作業等を行います(次回6/22 9:00~)。なお、活動にはサークル登録(保険加入)が必要になります。また、本年も社協に補助金の申請をいたしました。

ボラ広報：丸山優子

**お知らせ      ご案内**

平成 26 年度会費未納方へのお願い・・・

新年度が始まりました。早めにお納めくださいますようお願いいたします。  
友の会の運営は皆様の会費のみで成り立っておりますので、どうぞよろしくようお願いいたします。  
郵便振替口座番号    00550-2-24194    加入者名    山博友の会  
個人会員    3500 円    ファミリー会員    4000 円

ゆきつばき通信編集室より \_\_\_\_\_

梅雨入りの声があちらこちらから聞こえてきます。梅雨明け(?)の行事のご案内になります。重複が多くなってしまいますが、山と博物館も併せてごらんください。

5月の 茶臼山動物園でライチョウを観察してみよう! は天気にも恵まれ大人も子供も動物園の一日を楽しんできました。行きのバスでも美麻の旧中村家住宅(国の重要文化財)や土尻川の蛇行地形などずっと沿線の学習に徹して、博物館らしい行事でした。一通りライチョウの解説が終わった後、「大人の話をする・・・」というので大人はニヤニヤしながらついていくと、来年3月の行事「大人のための観察会- 冬のライチョウを見に行こう! -」の前ふりでした。ハイ。帰りのバスではちょっとしたお土産までいただきました。

相変わらず、日々に追われ、『ゆきつばき(25年度分)』の発行が遅れています。ご迷惑をおかけします。

(丸山卓哉)

**ゆきつばき通信 第161号 web 版**

発行 / 大町山岳博物館友の会      平成 26 年 6 月 7 日

〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1

大町山岳博物館内 山博友の会事務局      Tel/Fax 0261-23-6334

会費振替口座番号 00550 - 2 - 24194 加入者名 山博友の会

山博ページ <http://www.omachi-sanpaku.com/> 山博ホームページもリニューアル

友の会は、山博の情報発信のために山博ホームページの維持に協力しています